

海上警報

記号	警報の種類	基準
[W]	海上風警報	風速28ノット以上
[GW]	海上強風警報	風速34ノット以上
[SW]	海上暴風警報	風速48ノット以上
[TW]	海上台風警報	台風によって風速64ノット以上
FOG[W]	海上濃霧警報	視程0.3海里以下

注: その状態になっているか、24時間以内にその状態になると予想されるときに発表される。

梅雨前線：特徴

- 比湿の勾配が大きい(温度の勾配は大きくない)。→相当温位の勾配が大きい。
 - 850hPa、500hPa天気図で判断。
- 湿舌：高相当温位域が南西から伸びる。
- 下層ジェット：前線の南側で南西風。
 - 850hPa風・相当温位解析図で判断。
- 湿潤中立成層。
 - 相当温位が鉛直方向にほぼ一定(←対流活動)。

雲画像：画像の種類

雲画像の種類	特徴
赤外画像	雲頂高度が高い雲⇒白
可視画像	厚い(=雲水量が多い)雲⇒白
水蒸気画像	対流圏中上層の水蒸気が多い領域⇒白

※赤外画像と可視画像は雲を、水蒸気画像は水蒸気をみるためのものである。

雲画像：雲の種類と見えかた

雲の種類	赤外画像	可視画像	形状
積乱雲	白	白	団塊状
巻雲、巻層雲	白	灰色	なめらか
層雲	暗	白	なめらか

※層雲は海岸線に沿った形になることが多い。

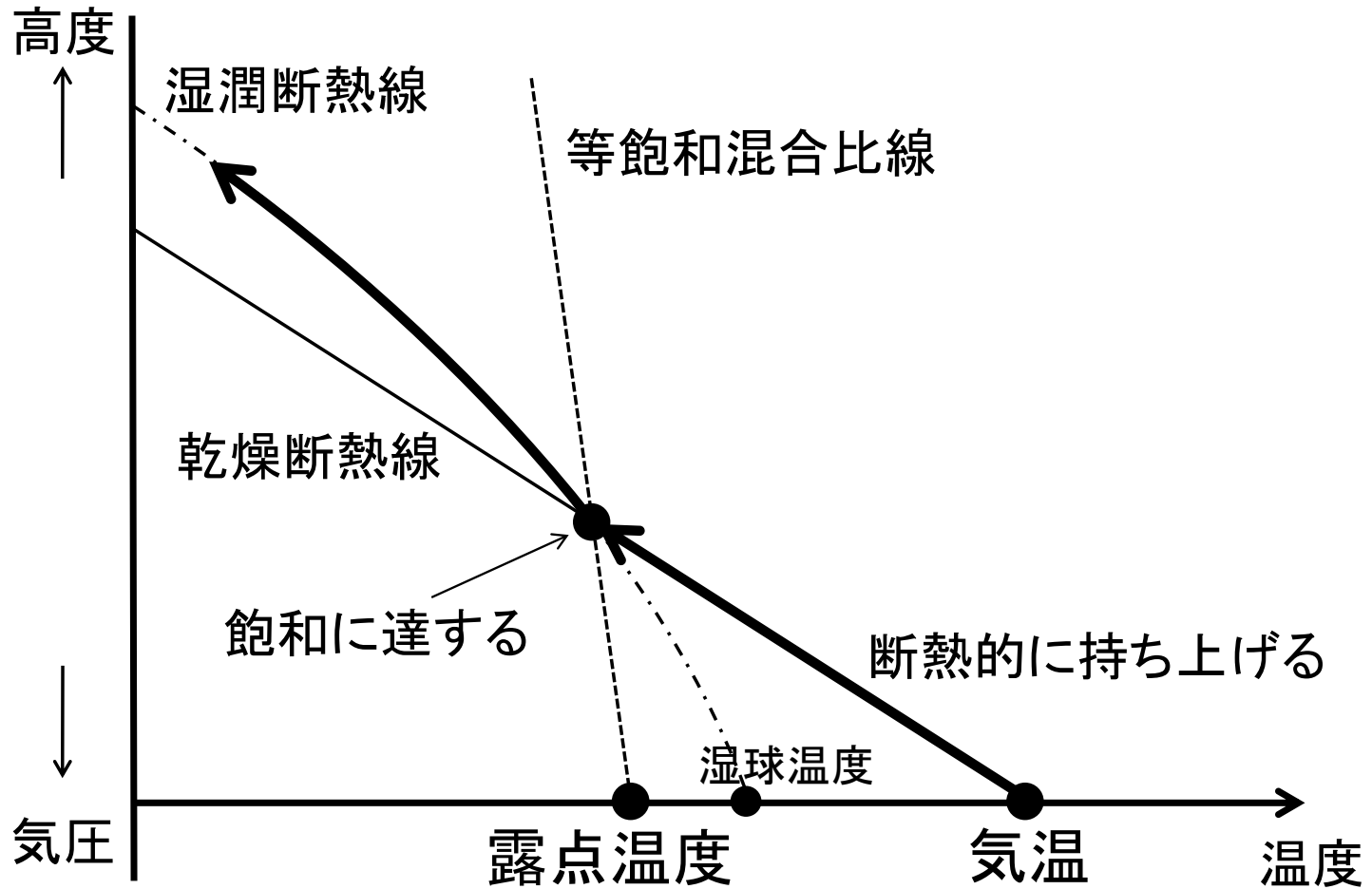
温帯低気圧：前線の解析

- 850hPa気温または相当温位。
- 等温線または等相当温位線の集中帯の暖気側。
- 風向も参考にする。

安定度：大気の鉛直安定度

- 気温(温位)による安定度：
 - 絶対安定：温度減率 < 湿潤断熱減率
 - 条件付不安定：湿潤断熱減率 < 温度減率 < 乾燥断熱減率
 - 絶対不安定：乾燥断熱減率 < 温度減率
- 相当温位による安定度：
 - 対流不安定：相当温位が上空にいくほど低い。

安定度：エマグラム



警報

※大雨警報の発表基準:

大雨警報(浸水害):雨量基準

大雨警報(土砂災害):土壌雨量指数基準

1日の時間細分

未明	0時頃から3時頃まで
明け方	3時頃から6時頃まで
朝	6時頃から9時頃まで
昼前	9時頃から12時頃まで
昼過ぎ	12時頃から15時頃まで
夕方	15時頃から18時頃まで
夜のはじめ頃	18時頃から21時頃まで
夜遅く	21時頃から24時頃まで

突風に関する気象情報

- 気象情報
 - 半日～1日前。
- 雷注意報
 - 数時間前。
- 竜巻注意情報
 - 現在、発表から1時間有効。
 - 気象台の担当地域ごと。

突風に関する気象情報

- 竜巻発生確度ナウキャスト
 - 気象ドップラーレーダーによる観測など。
 - 10km格子、10分ごとの値、1時間後まで、10分おきに発表。
 - 発生確度1、2。
 - 発生確度2→竜巻注意情報を発表。
 - 「竜巻あり」の予報の評価スコア： 発生確度2に比べて発生確度1のほうが、的中率は低く(空振りが多く)、捕捉率は高い(見逃しが少ない)。